

平成23年10月6日

担当課	文化振興課	国際課
内線	2768	2087
直通電話	895-2768	895-2087
担当者	草野・園田	天野・江口

中華人民共和国湖北省・上海市への訪問について

- 辛亥革命100周年を記念し、中国湖北省・武漢市に「武漢市辛亥革命博物館」と「武漢市中山艦博物館」が新たに開館する。
 - 両館にそれぞれ「辛亥革命と長崎」「中山艦と長崎」をテーマとする長崎県コーナーを設置する。
 - 湖北省人民対外友好協会のお勧めもあり、武漢市辛亥革命博物館において、長崎県コーナー開幕式を開催する運びとなっている。
 - この開幕式典に、宮内県議会議長とともに出席し、湖北省人民政府、武漢市人民政府を表敬訪問する。

 - 9月30日、湖北省人民対外友好協会会長が長崎県副知事を表敬訪問した際、湖北省側から長崎県と湖北省との友好交流関係を締結することについて提案があった。
 - 長崎県では、孫文と梅屋庄吉の友情を基礎としてはじまった、湖北省との交流をさらに促進させるために、湖北省側からの提案を受け入れ、湖北省訪問の機会に友好交流関係を締結することとした。

 - 11月上旬に「長崎県・上海市友好交流関係樹立15周年記念訪問団」を上海市に派遣する予定であるが、関係先への挨拶と視察を目的として、上海市を訪問することとした。
- 1 訪問者：長崎県知事、長崎県議会議長、長崎歴史文化博物館館長ほか
 - 2 日程等：平成23年10月10日（月）～13日（木）
湖北省武漢市・上海市（別添のとおり）

3 長崎県コーナー概要等

(1) 武漢市辛亥革命博物館（2011年10月6日開館予定）

①概要

- ・「辛亥革命」をテーマとする博物館
- ・建築総面積 2.2万㎡
- ・地上3階地下1階建て
- ・展示面積：約7,000㎡
- ・長崎県を紹介するコーナーとして、1階閲覧室約250㎡に展示

②展示内容

展示名：「孫文・梅屋庄吉と長崎」展

章立て：「孫文と梅屋庄吉」、「中国民主革命・孫文と長崎」、
「現代の長崎」

構成：写真、新聞記事、説明パネル、文物資料（13点）及び映像資料
で展示。現代の長崎」では、現在の長崎県の概要、自然、街並み、
食、観光地等を紹介する。

展示期間：2011年10月～2012年3月（6ヶ月間）

(2) 中山艦博物館（2011年9月26日開館）

①概要

- ・中山艦文化旅遊区（31.2ヘクタール。うち、10ヘクタールは湖水）
の一角
- ・建築総面積 約1.1万㎡
- ・長崎県を紹介するコーナーとして、パネル（高さ2.1メートル×幅
4.125メートル）で構成

②展示内容

展示名：「孫文と梅屋庄吉ゆかりの地・長崎～中山艦が生まれた街～」

章立て：「孫文と梅屋庄吉」、「中山艦と長崎」、「現代の長崎」

構成：写真・パネルで構成

展示期間：2011年10月～2012年3月（6ヶ月間）

※中山艦とは

「永豊艦」として、1912年長崎市の三菱造船所で建造。孫文及び中国革命と様々な関わりを持ち、孫文亡き後、孫文の号である「中山」を取って「中山艦」と変更。1938年日中戦争で日本軍爆撃機から攻撃を受け武漢付近の長江で撃沈。1997年引き揚げ後、修復・復元。中山艦と一緒に水中から引き揚げられた、数百点にのぼる文物も中山艦博物館に展示。



武漢市辛亥革命博物館

(出典：インターネット)



武漢市中山艦博物館

(出典：インターネット)

4 湖北省との友好交流関係締結について

(1) 締結の理由

中国の辛亥革命100周年に当る今年、長崎歴史文化博物館では10月1日から特別企画展「孫文・梅屋庄吉と長崎」が開催されている。

湖北省の省都・武漢市は、「辛亥革命発祥の地」として広く知られているが、昨年12月に武漢市で開催された「孫文・梅屋庄吉展」開会式への長崎県副知事の出席、特別企画展開催に当たっての資料借用、武漢市・辛亥革命博物館及び中山艦博物館での長崎県コーナー開設などの文化面での交流が急速に深まってきた。

これを契機として、更に広範な交流を行い、長崎県・湖北省双方の発展と繁栄を促進するために、友好交流関係を締結する。

(2) 締結予定日（調整中）

2011（平成23）年10月10日（月）

(3) 湖北省の概要

別添のとおり

参考）長崎県の姉妹友好都市締結状況

相手都市	国名	提携年月日	種類
福建省	中華人民共和国	1982年10月16日	友好県省
上海市	中華人民共和国	1996年10月14日	友好交流関係
ゼーランド州	オランダ	2000年10月26日	友好交流関係

湖北省の概要

湖北省の略称は「鄂」、揚子江の中流流域、洞庭湖の北側に位置し、東に安徽省、南に江西省・湖南省、西に重慶市、北に河南省・陝西省と隣接する。面積は 185,900 平方キロ、全国の 1.94% を占める。春秋戦国時代では「楚の国」と言う。省都は武漢市。

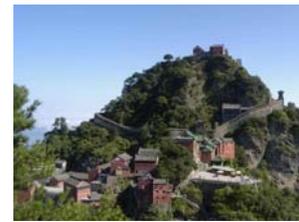


地勢は東、西、北の三面を山に囲まれ、中心部は低地となっており、南に開かれた盆地の形を呈している。山岳地帯が 56%、丘陵が 24%、平原が 20% を占める。

省内主な観光地

○武当山

十堰市にある道教の聖地であり、国家 4A 級観光地である。



○神農架

中国東部にある最大な原始森林であり、国家級自然保護区でもある。1995 年に WWF により「生物多様性保護モデル地域」に認定されている。



○三峡ダム

西陵峡中部の湖北省宜昌市にあり、世界最大の水利プロジェクトと言われている。



○東湖

武漢市武昌の東郊にあり、国家名勝風景区、4A 級風景区であり、総面積が 88 平方キロ、水面面積が 33 平方キロあり、杭州西湖の 6 倍に相当する。



○黄鶴楼

武漢市武昌蛇山峰にあり、揚子江に臨んでいる。湖南の岳陽楼、江西の藤王閣と並べ「江南三大名楼」とされている。

人口

常住人口：5, 720万人

人口密度：307. 7人/平方キロ

産業・経済

農業は中国南北の農業様式が混ざり合っていて、江漢平原では小麦、水稻、綿花などが栽培されている。また西部の山地では茶や桐油、漆、生薬の生産が中心。農業特産品としては恩施の富硒茶、羅田の栗、秭帰・宜昌のみかん、武漢の武昌魚などが全国的に名が知られており、その他にも洪湖の蓮子、西陵のみかん、鄖陽・房県の木耳、咸寧の木犀、利川の漆などが有名。

地下資源も豊かで、鉄・銅・燐・岩塩・石膏・石炭などで豊富な埋蔵量を誇っている。工業は鉄鋼・機械・電力・セメント・化学・紡績などが中心で、特に鉄鋼・自動車・製布・農薬・化学肥料などの生産では全国でもトップクラスの実力を誇り、武漢鉄鋼公司・十堰東風自動車・湖南自動車集団などの企業は全国でも広く名が知られている。省内の工業地帯はいくつかのエリアに分れていて、武漢・黄石がある鄂東南工業地区は鉄鋼・銅・服装が中心で、十堰・襄樊がある西北工業区はトラック・小型車の生産拠点、宜昌・荊州・荊門がある中西部工業区は重化学工業中心となっている。

省域内の（GDP）生産総額は1 1 3 3 0. 38億人民元

歴史

湖北省は春秋戦国時代には楚国に属し、漢代には荊州が置かれた。古くから「九省通衢」の名称で呼ばれ、東西南北の交通の要衝として三国時代や南北朝時代には激しい争奪戦が繰りひろげられた。

宋代には荊州湖北路が置かれ、清代に湖北省となる。

清朝を倒し中華民国を成立させた辛亥革命は、1911年10月10日に武昌(現在の武漢市の一部)で起こった革命派軍隊の叛乱が発端となった。

日本との友好都市関係締結

武漢市 <small>ふかんし</small> —大分県大分市	1979年締結、湖北省最初の友好都市
武漢市 <small>かざんけん</small> 花山県—大分県豊後大野市	1980年締結
襄陽市 <small>じょうようし</small> —愛知県犬山市	1983年締結
荆州市 <small>けいしゅうし</small> —福島県会津若松市	1991年締結
鄂州市 <small>がくしゅうし</small> —新潟県三条市	1994年締結
荆門市 <small>けいもんし</small> 京山県—福島県二本松市	1994年締結
荆州市 <small>けいしゅうし</small> 荆州区—大分県豊後大野市	1994年締結
黄石市 <small>こうせきし</small> —岐阜県関市	1997年締結
湖北省 <small>こほくしょう</small> —福島県	1994年締結

※友好都市ではなく、友好交流関係を締結

長崎県との関係

○県内外国人登録者数：66人（本籍：湖北省）

※参考 福建省：751人 上海市：385人

○県内大学の姉妹・友好校交流

長崎外国語短期大学 — 武漢大学 ：2001年提携

長崎外国語大学 — 武漢科技大学中南分校：2009年提携